

平成 28 年度

中心市街地に関する県民意識・消費動向調査結果の概要

《調査の概要》

- ・ 対象者 : 20 代以上の男女、24,000 人
(県内全世帯の約 3% 無作為抽出)
- ・ 回収率 : 43.0% (10,326/24,000)
- ・ 調査期間 : 平成 28 年 8 月から 9 月まで
- ・ その他 : 時系列比較を行うため、前回調査の市町村単位 (旧市町村数 98) で集計

平成 29 年 3 月



新潟県

1 県内消費者の買物行動

(1) 居住人口に対する購買人口の割合（表1）

- ・ 他地区（旧市町村）から消費需要を吸引する「吸引型」は、広域エリアの拠点地区を中心に12地区となり、前回より1地区減少している。
- ・ 一方、前回同様、8割を超える地区が他市町村に消費需要が流出する「流出型」となった。

(注) 「購買人口」…… 地区(A)の居住人口に地元購買率を乗じたものと、地区(A)以外の居住人口に(A)地区への流入率を乗じたものの合計。(地元購買人口+流入購買人口)

「吸引型地区」… 購買人口/居住人口「1.0以上」の地区

「流出型地区」… 購買人口/居住人口「1.0未満」の地区

「地区」……… 前回調査時の市町村単位(旧市町村数98)

「広域エリア」… 前回調査までの広域生活圏をベースに、市町村合併を考慮して設定

「拠点地区」…… 各広域エリアの中で、小売業年間販売額、商圏人口などからみて最も中心性が強いとみられる地区で14地区を設定

表1-1 居住人口に対する購買人口の割合

年度 購買人口 居住人口	28年度	25年度
1.20以上	<u>旧村上市</u> 、旧新登田市、旧亀田町、 <u>旧長岡市</u> 、 <u>旧小出町</u> 、 旧湯之谷村、 <u>旧六日町</u> 、 <u>旧上越市</u> <8>	旧村上市、旧新登田市、旧亀田町、 <u>旧長岡市</u> 、旧湯之谷村、 <u>旧六日町</u> 、 <u>旧十日町市</u> 、 <u>旧上越市</u> <8>
1.00以上 1.20未満	旧新潟市、 <u>旧三条市</u> 、旧燕市、 <u>旧十日町市</u> <4>	旧新潟市、 <u>旧三条市</u> 、旧燕市、小千谷市、 <u>旧小出町</u> <5>
0.80以上 1.00未満	小千谷市、 <u>旧糸魚川市</u> 、 <u>佐渡市</u> <3>	見附市、 <u>旧柏崎市</u> 、 <u>旧新井市</u> 、 <u>佐渡市</u> <4>
0.50以上 0.80未満	<u>旧荒川町</u> 、聖籠町、旧中条町、 <u>旧新津市</u> 、旧白根市、 旧豊栄市、旧横越町、旧巻町、 <u>旧五泉市</u> 、旧津川町、 加茂市、旧分水町、旧吉田町、見附市、 <u>旧柏崎市</u> 、 <u>旧塩沢町</u> 、 <u>旧新井市</u> <17>	聖籠町、旧中条町、旧新津市、旧白根市、旧豊栄市、 旧横越町、旧巻町、 <u>旧五泉市</u> 、旧津川町、加茂市、 旧分水町、旧吉田町、旧栃尾市、旧蒲川原村、 <u>旧糸魚川市</u> <15>
0.30以上 0.50未満	阿賀野市、旧村松町、旧栃尾市、刘羽村、 <u>旧堀之内町</u> 、 津南町、 <u>旧中里村</u> 、 <u>旧松代町</u> 、旧蒲川原村、 <u>旧柿崎町</u> 、 <u>旧大潟町</u> 、旧妙高村 <12>	旧荒川町、阿賀野市、旧村松町、刘羽村、旧塩沢町、 津南町、旧柿崎町、旧妙高村 <8>
0.30未満	関川村、旧神林村、旧朝日村、旧山北町、栗島浦村、 旧加治川村、旧紫雲寺町、 <u>旧黒川村</u> 、 <u>旧小須戸町</u> 、旧岩室村、 旧西川町、旧味方村、 <u>旧潟東村</u> 、旧月潟村、旧中之口村、 旧鹿瀬町、旧上川村、旧三川村、弥彦村、 <u>旧上町</u> 、 旧下田村、 <u>旧栄町</u> 、旧中之島町、旧越路町、 <u>旧三島町</u> 、 旧与板町、旧和島村、出雲崎町、 <u>旧寺泊町</u> 、旧山古志村、旧川口町、 <u>旧小国町</u> 、旧高柳町、旧西山町、 <u>旧広神村</u> 、旧守門村、 <u>旧入広瀬村</u> 、湯沢町、旧大和町、 <u>旧川西町</u> 、旧松之山町、 旧安塚町、旧大島村、旧牧村、旧頸城村、旧吉川町、 <u>旧中郷村</u> 、旧板倉町、旧清里村、 <u>旧三和村</u> 、旧名立町、 旧妙高高原町、 <u>旧能生町</u> 、 <u>旧青海町</u> <54>	関川村、旧神林村、旧朝日村、旧山北町、栗島浦村、 旧加治川村、旧紫雲寺町、旧黒川村、旧小須戸町、旧岩室村、 旧西川町、旧味方村、旧潟東村、旧月潟村、旧中之口村、 旧鹿瀬町、旧上川村、旧三川村、弥彦村、 <u>旧上町</u> 、 旧下田村、旧栄町、旧中之島町、旧越路町、旧三島町、 旧与板町、旧和島村、出雲崎町、旧寺泊町、旧山古志村、 旧川口町、旧小国町、旧高柳町、旧西山町、旧堀之内町、 旧広神村、旧守門村、旧入広瀬村、湯沢町、旧大和町、 旧川西町、旧中里村、旧松代町、旧松之山町、旧安塚町、 旧大島村、旧牧村、旧大潟町、旧頸城村、旧吉川町、 旧中郷村、旧板倉町、旧清里村、旧三和村、旧名立町、 旧妙高高原町、旧能生町、旧青海町 <58>

- (注) <>内は市町村数を示す。
 (注2) 下線の市は拠点都市を示す。
 (注3) ゴシックは25年度から値が増加した市町村を示す。

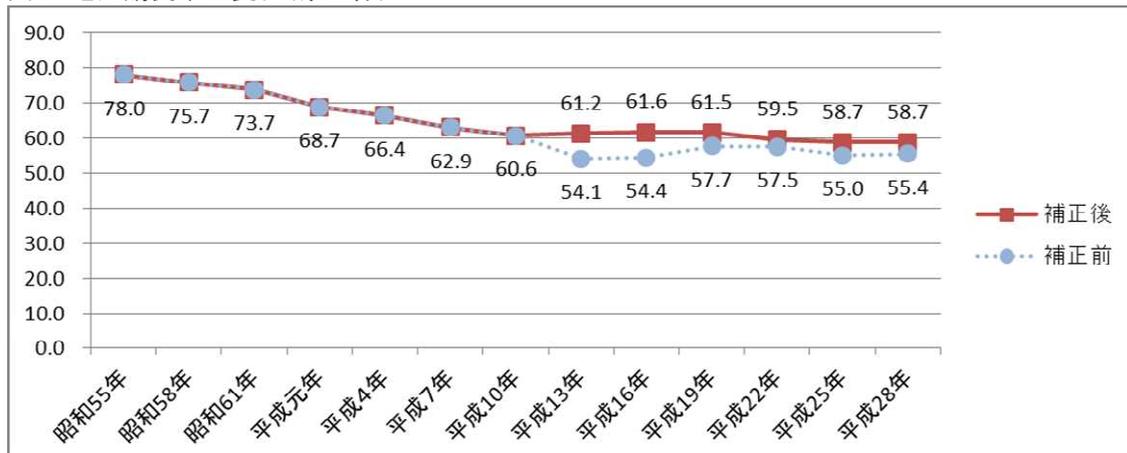
表1-2 前回調査と比べ居住人口に対する購買人口の割合の増減が大きい地区

地区	H25	H28	増加幅	地区	H25	H28	減少幅
旧荒川町	0.33	0.53	0.20	旧亀田町	3.47	2.97	▲ 0.50
旧糸魚川市	0.65	0.83	0.18	旧蒲川原村	0.58	0.38	▲ 0.20
旧堀之内町	0.20	0.30	0.10	聖籠町	0.69	0.51	▲ 0.18
旧松代町	0.25	0.35	0.10	旧六日町	1.44	1.26	▲ 0.18

(2) 地元購買率の動向 (図1、2、表2)

- ・ 消費者が、居住する地区（旧市町村）で買物をする割合を示す地元購買率（全品目）は、補正後の数値で58.7%（前回比±0）となっている。
- ・ 各地区の地元購買率をみると、旧長岡市、旧上越市の2市が80%を超えている。
- ・ 各地区を地元購買率で分類すると、8割を超える地区で50%未満となっている。

図1 地元購買率の変化(県全体)



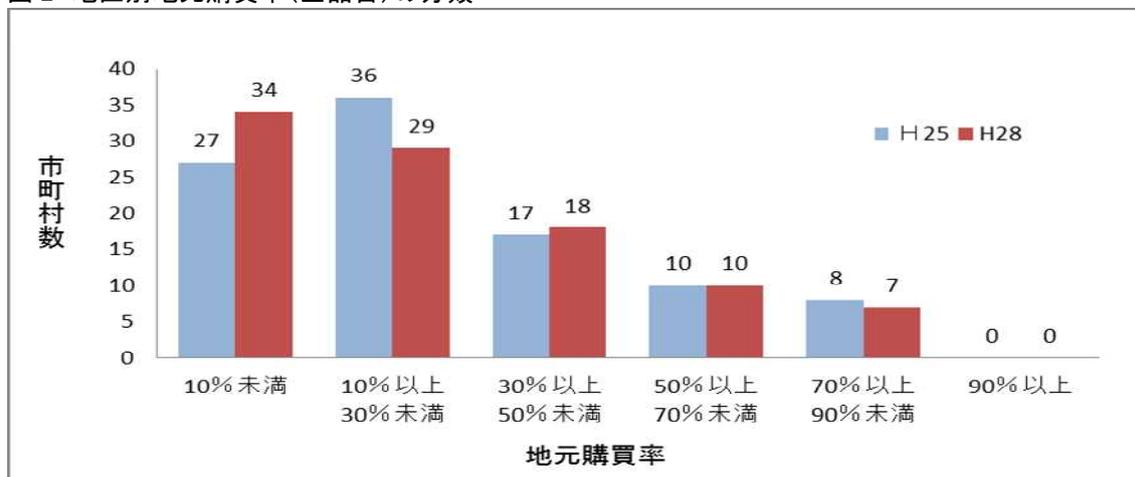
(注) 補正について… 平成13年調査から調査方法を変更した結果、市町村ごとの回収率にばらつきが生じたため、補正を行っている。

補正方法は、地区（旧市町村）ごとの地元購買人口（居住人口に地元購買率を乗じたもの）の合計を県人口で除している。

表2 地元購買率(全品目)の高い地区(旧市町村)(カッコ内は前回比)

地区名	地元購買率	前回比	地区名	地元購買率	前回比
1 旧長岡市	87.4	1.2	6 旧十日町市	77.1	▲ 3.1
2 旧上越市	83.5	▲ 0.6	7 旧柏崎市	70.6	▲ 4.8
3 佐渡市	79.9	▲ 0.4	8 旧六日町	67.4	▲ 7.2
4 旧新発田市	79.4	▲ 1.2	9 旧亀田町	66.6	2.7
5 旧新潟市	79.2	0.8	10 小千谷市	65.8	▲ 4.1

図2 地区別地元購買率(全品目)の分類



(3) 広域エリアにおける買物行動 (表3)

- ・ 買回品の購買率は、新潟、長岡エリアで 80%を超えているが、五泉など5エリアでは 50%を下回っているなど、広域エリア内にとどまらない購買傾向がみられる。
- ・ 最寄品の購買率は、妙高を除く全てのエリアで 80%を超えており、広域エリア内での購買傾向が強い。

表3 広域エリアにおける買物行動

項目 エリア 居住人口(人)	買回品			最寄品		
	購買人口(人) 購買率(%)			購買人口(人) 購買率(%)		
	25年	28年	増減	25年	28年	増減
岩 船 67,677	33,445 47.5	33,434 49.4	▲ 11 1.9	55,850 79.3	56,876 84.0	1,026 4.7
新発田 141,853	107,252 74.5	101,488 71.5	▲ 5,764 ▲ 3.0	131,623 91.5	130,685 92.1	▲ 938 0.6
新 潟 850,459	733,449 85.8	708,551 83.3	▲ 24,898 ▲ 2.5	794,374 93.0	789,703 92.9	▲ 4,671 ▲ 0.1
五 泉 62,107	27,004 41.5	24,546 39.5	▲ 2,458 ▲ 2.0	52,409 80.5	49,667 80.0	▲ 2,742 ▲ 0.5
三条・燕 225,286	142,503 61.9	134,622 59.8	▲ 7,881 ▲ 2.1	205,860 89.4	198,201 88.0	▲ 7,659 ▲ 1.4
長 岡 354,511	301,378 83.4	291,679 82.3	▲ 9,699 ▲ 1.1	338,978 93.8	334,241 94.3	▲ 4,737 0.5
柏 崎 90,648	60,517 64.8	52,756 58.2	▲ 7,761 ▲ 6.6	87,133 93.3	83,713 92.3	▲ 3,420 ▲ 1.0
魚 沼 36,717	15,912 41.3	15,411 42.0	▲ 501 0.7	32,411 84.1	32,859 89.5	448 5.4
南魚沼 65,757	42,828 62.7	37,044 56.3	▲ 5,784 ▲ 6.4	58,691 85.9	55,858 84.9	▲ 2,833 ▲ 1.0
十日町 63,767	47,437 70.9	43,912 68.9	▲ 3,525 ▲ 2.0	62,784 93.8	59,093 92.7	▲ 3,691 ▲ 1.1
上 越 195,592	160,003 80.2	152,108 77.8	▲ 7,895 ▲ 2.4	179,191 89.8	178,250 91.1	▲ 941 1.3
妙 高 32,757	9,280 27.2	9,119 27.8	▲ 161 0.6	27,843 81.5	25,841 78.9	▲ 2,002 ▲ 2.6
糸魚川 43,572	13,024 28.4	18,774 43.1	5,750 14.7	39,321 85.8	38,231 87.7	▲ 1,090 1.9
佐 渡 56,258	42,798 72.0	39,999 71.1	▲ 2,799 ▲ 0.9	57,777 97.2	54,458 96.8	▲ 3,319 ▲ 0.4

(注)「買回品」… 高級衣料、靴・カバン、家電製品など、商品の品質・価格等を比較して買物をする品目

「最寄品」… 日用雑貨、食料品など日常的に頻繁に買物をする品目

2 拠点地区における購買動向

(1) 商圏の規模と特性 (表 4)

- ・ 県内の商圏は、旧新潟市の商圏人口が 1,463,021 人で 48 地区を包含し、他を大きく引き離している。
- ・ 旧新潟市以外で、商圏人口が 20 万人以上の商圏は、旧長岡市 638,511 人 (34 地区)、旧新発田市 298,315 人 (14 地区)、他 2 地区となっている。
- ・ 14 の拠点地区のうち旧村上市、旧五泉市、旧長岡市、旧六日町、旧糸魚川市を除く 9 地区では、商圏人口、購買人口ともに減少している。

表 4 拠点地区における購買行動

拠点地区	広域エリア	H28商圏人口 (買回品) (人)	商圏に 含まれる 地区数	H28購買人口 (買回品) (人)	地元購買率 (買回品) (%)	商圏内シェア (買回品) (%)	流入購買率 (買回品) (%)	前 回 比			
								商圏人口		購買人口	
								増減 (人)	増減率 (%)	増減 (人)	増減率 (%)
旧村上市	岩船エリア	67,677	7	30,992	52.8	45.8	52.9	▲ 2,754	▲ 3.9	380	1.2
旧新発田市	新発田エリア	298,315	14	105,910	73.8	35.5	40.9	▲ 6,396	▲ 2.1	▲ 6,082	▲ 5.4
旧新潟市	新潟エリア	1,463,021	48	586,586	75.1	40.1	32.0	▲ 89,356	▲ 5.8	▲ 13,795	▲ 2.3
旧五泉市	五泉エリア	62,107	6	19,576	39.5	31.5	31.8	▲ 3,016	▲ 4.6	77	0.4
旧三条市	三条・燕エリア	253,002	13	71,263	48.8	28.2	46.5	▲ 6,971	▲ 2.7	▲ 4,862	▲ 6.4
旧長岡市	長岡エリア	638,511	34	279,860	84.2	43.8	42.3	▲ 14,103	▲ 2.2	2,927	1.1
旧柏崎市	柏崎エリア	95,105	5	51,750	58.5	54.4	10.7	▲ 19,321	▲ 16.9	▲ 9,307	▲ 15.2
旧小出町	魚沼エリア	50,803	7	9,910	24.4	19.5	73.0	▲ 2,050	▲ 3.9	▲ 1,009	▲ 9.2
旧六日町	南魚沼エリア	93,334	8	31,695	57.4	34.0	52.9	168	0.2	▲ 6,726	▲ 17.5
旧十日町市	十日町エリア	63,767	6	40,379	68.2	63.3	37.4	▲ 4,974	▲ 7.2	▲ 3,231	▲ 7.4
旧上越市	上越エリア	277,223	22	179,210	78.4	64.6	42.3	▲ 8,130	▲ 2.8	▲ 12,713	▲ 6.6
旧新井市	妙高エリア	43,380	5	11,265	29.6	26.0	36.2	▲ 2,167	▲ 4.8	▲ 666	▲ 5.6
旧糸魚川市	糸魚川エリア	43,572	3	17,444	46.7	40.0	27.9	▲ 2,251	▲ 4.9	5,115	41.5
佐渡市	佐渡エリア	56,258	1	39,999	71.1	71.1	0.0	▲ 3,183	▲ 5.4	▲ 2,799	▲ 6.5

(注)「商圏人口」… 商圏 (地区(A)での消費需要のうち 5%以上が他の地区(B)へ流出している場合、(A)は(B)の商圏に含まれる) に居住する人口の合計。

「購買人口」… 地区(A)の居住人口に地元購買率を乗じたものと、地区(A)以外の居住人口に(A)地区への流入率を乗じたものの合計。(地元購買人口+流入購買人口)

「商圏内シェア」… 商圏人口に対する購買人口の割合をいい、商圏内の吸引密度 (商圏の深さ) を表す。

(2) 買物地区利用割合の変化（全品目）（表 5、6）

◇ 商店街型

- ・ 14 の拠点地区のうち、旧新発田市、旧五泉市、旧十日町市、旧糸魚川市、佐渡市を除く 9 地区で低下した。
- ・ このうち、3 ポイント以上低下したのは、旧村上市（▲9.9）、旧長岡市（▲3.2）、旧柏崎市（▲3.9）、旧上越市（▲7.3）の 4 地区。

◇ 郊外型

- ・ 7 地区で上昇しており、このうち、5 ポイント以上上昇したのは、旧村上市（10.2）、旧上越市（6.7）、旧糸魚川市（7.5）の 3 地区。
- ・ 旧十日町市（▲10.3）など 7 地区では低下した。

◇ 地元内買物地区利用割合

- ・ 地元内買物地区利用割合（地元購買率（全品目））をみると、旧糸魚川市（+11.9）など 5 地区で増加した。

表 5 買物地区利用割合の変化

（単位：％）

拠点地区	広域エリア	商店街型			郊外型			地元内		
		平成25年	平成28年	増減	平成25年	平成28年	増減	平成25年	平成28年	増減
旧村上市	岩船エリア	19.0	9.1	▲ 9.9	46.2	56.4	10.2	65.2	65.5	0.3
旧新発田市	新発田エリア	3.0	4.1	▲ 1.1	77.6	75.3	▲ 2.3	80.6	79.4	▲ 1.2
旧新潟市	新潟エリア	41.8	41.2	▲ 0.6	36.6	38.0	1.4	78.4	79.2	0.8
旧五泉市	五泉エリア	10.5	16.2	5.7	44.0	37.1	▲ 6.9	54.5	53.3	▲ 1.2
旧三条市	三条・燕エリア	5.0	4.8	▲ 0.2	58.4	56.4	▲ 2.0	63.4	61.2	▲ 2.2
旧長岡市	長岡エリア	19.5	16.3	▲ 3.2	66.7	71.1	4.4	86.2	87.4	1.2
旧柏崎市	柏崎エリア	21.5	17.6	▲ 3.9	53.9	53.0	▲ 0.9	75.4	70.6	▲ 4.8
旧小出町	魚沼エリア	21.2	18.9	▲ 2.3	14.9	15.1	0.2	36.1	34.0	▲ 2.1
旧六日町	南魚沼エリア	22.9	21.2	▲ 1.7	51.7	46.2	▲ 5.5	74.6	67.4	▲ 7.2
旧十日町市	十日町エリア	27.2	34.4	7.2	53.0	42.7	▲ 10.3	80.2	77.1	▲ 3.1
旧上越市	上越エリア	22.4	15.1	▲ 7.3	61.7	68.4	6.7	84.1	83.5	▲ 0.6
旧新井市	妙高エリア	13.8	11.9	▲ 1.9	34.3	36.4	2.1	48.1	48.3	0.2
旧糸魚川市	糸魚川エリア	3.8	8.2	4.4	47.4	54.9	7.5	51.2	63.1	11.9
佐渡市	佐渡エリア	17.2	18.2	1.0	63.1	61.7	▲ 1.4	80.3	79.9	▲ 0.4

表 6 増減の大きい買物地区（増減3ポイント以上の地区）

（単位：％）

地区（旧市町村）	買物地区	前回	今回	増減
旧村上市	村上プラザ（イオン村上東店を含む）	16.3	12.8	▲ 3.5
	国道 7 号線沿線（山辺里・仲間町）	29.9	22.6	▲ 7.3
旧新潟市	小新・亀貝（イオン新潟西、アピタを含む）	8.5	11.5	3.0
旧六日町	六日町インター周辺	34.9	27.9	▲ 7.0
佐渡市	東大通地区（ムサシ周辺）	18.3	13.2	▲ 5.1

（注）「買物地区利用割合」… 買物地区における最近 1 年間の買物金額の割合
 →この期間中に新規出店があった地区については、留意する必要がある。
 「商店街型」… 従来より商店が集まり、地域の商業の中心を担ってきた地区
 「郊外型」… 「商店街型」に当てはまらない地区

(3) 主な地区の買物地区利用割合

◇ 旧新潟市（表7）

- ・ 「商店街型」41.2%に対し、「郊外型」は38.0%と「商店街型」地区での買物利用割合が高い。
- ・ 「商店街型」では、「万代（ラブラ万代、伊勢丹、原信を含む）」（10.3%）、「郊外型」では、「小新・亀貝（イオン新潟西・アピタを含む）」（11.5%）の割合が高くなっている。

表7 旧新潟市買物地区別利用割合(全品目)

(単位:%)

旧新潟市（全品目）	商店街型															商店街計	
	古町・西堀（三越、ローザを含む）	東堀	本町（イトーヨーカドーを含む）	小針	寺尾	内野	黒崎	西新潟のその他	万代（ラブラ万代、伊勢丹、原信を含む）	新潟駅前・新潟駅（C.O.C.O.L.O.を含む）	新潟駅南（ドンキホーテを含む）	沼垂	山の下（市場通り周辺、清水フードを含む）	石山（東新潟駅周辺）	松浜		東新潟のその他
平成25年	5.6	0.1	2.6	1.2	1.7	2.4	2.1	3.1	9.9	2.7	3.5	0.1	0.5	1.1	0.7	4.5	41.8
平成28年	5.3		2.4	1.2	1.7	1.8	2.0	3.1	10.3	2.6	3.2	0.2	0.6	1.3	0.8	4.7	41.2
増減	▲0.4		▲0.2	0.0	0.0	▲0.6	▲0.1	0.0	0.4	▲0.1	▲0.3	0.1	0.1	0.2	0.1	0.2	▲0.6
旧新潟市（全品目）	郊外型										地元内計	地元外計	県外計	宅配等・無店舗販売計			
	万代島（ピア万代を含む）	青山（イオン新潟を含む）	小新・亀貝（イオン新潟西、アピタを含む）	小針	関屋（原信・ヤマダ電機を含む）	（チャレンジャー）	出島	木戸・大形（イオン新潟東店を除く）	河渡S.C.・イオン	藤見（赤道S.C.・フレスポを含む）					郊外型計		
平成25年	-	4.8	8.5	2.7	7.2	2.3	7.7	3.4	36.6	78.4	10.8	0.5	2.2	13.5	1.4	6.7	
平成28年	0.6	4.9	11.5	1.7	6.5	2.0	7.6	3.2	38.0	79.2	8.8	0.4	1.9	11.1	1.3	8.4	
増減	-	0.1	3.0	▲1.0	▲0.7	▲0.3	▲0.1	▲0.2	1.4	0.8	▲2.0	▲0.1	▲0.3	▲2.4	▲0.1	1.7	

◇ 旧長岡市（表 8）

- ・ 「商店街型」16.3%に対し、「郊外型」は71.1%と「郊外型」地区での買物利用割合が高い。
- ・ 「商店街型」では、「長岡駅大手口地区（イトーヨーカドー含む）」（3.6%）、「郊外型」では、「川崎・堀金地区（パルス・トイザラスを含む）」（12.3%）の割合が高くなっている。

表 8 旧長岡市買物地区別利用割合（全品目）（単位：%）

旧長岡市（全品目）	商店街型										商店街計
	長岡駅ビル（CocoLo）	長岡駅大手口地区（イトーヨーカドー含む）	大手通（周辺の商店街を含む）	長岡駅東口・台町地区	表町・中島地区（ウオロク含む）	神田・新町地区	三・八市場（五・十市、露店市場）	関原地区	その他（旧長岡市内の左記以外の地区）		
平成 25 年	4.3	5.7	1.3	1.6	2.1	0.9	0.1	0.7	2.8	19.5	
平成 28 年	3.3	3.6	0.9	1.5	2.5	0.8		-	3.7	16.3	
増 減	▲1.0	▲2.1	▲0.4	▲0.1	0.4	▲0.1	▲0.1	-	0.9	▲3.2	

旧長岡市（全品目）	郊外型												郊外型計		
	信・朝白・福住地区（原・g u含む）	川崎・トイザラス地区（パルス・堀金地区含む）	川崎・トイザラス地区（パルス・堀金地区含む）	四郎丸・中沢地区（アクロスプラザ含む）	千手・宮原・幸町地区	宮内・要町・笹崎地区	千秋が原地区（リバーサイド千秋含む）	岡店周辺地区（イオン長岡正寺地区）	古正寺地区（イオン長岡正寺周辺を除く）	大島・希望が丘地区	長生橋通地区	喜多町地区		日越地区（ヤマダ電機含む）	関原地区
平成 25 年	2.2	12.0	5.5	1.3	7.0	10.5	9.2	9.9	2.1	0.1	3.2	2.5	-	1.2	66.7
平成 28 年	1.8	12.3	6.7	1.7	6.8	11.9	10.6	10.1	2.0	0.2	3.2	2.2	0.9	0.7	71.1
増 減	▲0.4	0.3	1.2	0.4	▲0.2	1.4	1.4	0.2	▲0.1	0.1	0.0	▲0.3	-	▲0.5	4.4

旧長岡市（全品目）	地元内	見附市				地元外計	県外計	宅配等・無店舗販売計
		小千谷市	旧新潟市	内	その他（左記以外の県内旧市町村）			
平成 25 年	86.2	1.3	1.0	2.8	1.0	6.1	1.8	5.9
平成 28 年	87.4	0.7	0.4	1.8	0.9	3.8	1.1	7.7
増 減	1.2	▲0.6	▲0.6	▲1.0	▲0.1	▲2.3	▲0.7	1.8

◇ 旧上越市（表9）

- ・ 「商店街型」15.1%に対し、「郊外型」は68.4%と「郊外型」地区での買物利用割合が高い。
- ・ 「商店街型」では、「西本町・五智（イトーヨーカ堂付近）」（7.4%）、「郊外型」では、「富岡・下門前（イオン・ムサシ・コジマ付近）」（34.4%）の割合が高くなっている。

表9 旧上越市買物地区別利用割合(全品目) (単位:%)

旧上越市（全品目）	商店街型														商店街型計					
	町高田本町1～2・南本	近高田本町3～5（イレ）	高田本町6・7、幸町（イチコ付近）	西本町・五智（イトーヨーカ堂付近）	便局付近	直江津中央（直江津郵便局付近）	病院付近	直江津駅前（駅前～麓）	高田本町1～2（イチコ付近）	南本町	南高田町（南高田駅前）	脇野田駅前付近	稲田・四ヶ所	肉のたなべ付近		春日山駅前（旧駅前）	左記以外（旧上越市内の地区）	その他（旧上越市内の地区）		
平成25年	—	2.9	1.5	8.0	0.3	0.3	1.2	1.5	0.3	0.3	1.2	0.6	4.3	22.4						
平成28年	1.3	2.0	1.0	7.4	0.1	0.1	—	—	—	—	—	—	3.2	15.1						
増減	—	▲0.9	▲0.5	▲0.6	▲0.2	▲0.2	—	—	—	—	—	—	▲1.1	▲7.3						
旧上越市（全品目）	郊外型														郊外型計					
	南高田町（南高田駅前）	上越妙高駅前付近	稲田・四ヶ所	子安・鶴島・樋場（パローナ上越店付近）	北城町（ナルス付近）	土橋（原信付近）	近マリーケントセンター付	富岡（上越ウイング付）	近・ムサシ・コジマ付	富岡・下門前（イオン）	肉のたなべ付近	春日山駅前（旧駅前）	コ・ニトリ周辺（イチコ）	近源入・下門前（イチコ）		信・ナルス西松屋付	春日山駅前（コメリ・原）	山ろく線（コメリ・原）	近山ろく線（イチコ付）	山ろく線（イチコ付）
平成25年	—	—	—	5.7	2.6	1.6	5.5	32.4	—	4.1	2.0	4.9	2.9	—	61.7					
平成28年	0.4	0.2	1.0	5.7	2.4	1.3	4.5	34.4	0.8	3.9	2.0	4.6	3.8	3.4	68.4					
増減	—	—	—	0.0	▲0.2	▲0.3	▲1.0	2.0	—	▲0.2	0.0	▲0.3	0.9	—	6.7					
旧上越市（全品目）	地元内	地元外					地元外計	県外計	無店舗販売計											
		妙高市	柏崎市	長岡市	新潟市	その他（左記以外の市内旧市町村）														
平成25年	84.1	1.6	—	1.0	2.0	0.6	5.2	2.9	7.8											
平成28年	83.5	1.1	0.1	0.8	2.3	0.7	5.0	2.9	8.6											
増減	▲0.6	▲0.5	—	▲0.2	0.3	0.1	▲0.2	0.0	0.8											

(4) 買物地区別利用交通手段 (旧新潟市) (表 10)

- ・ 「商店街型」は、「自家用車」に加え、「自転車・バイク」「徒歩」「バス」の割合が郊外型に比べ高くなっている。
- ・ 「郊外型」では、「自家用車」の利用割合が非常に高くなっている。

表 10 買物地区別利用交通手段

(単位:%)

旧新潟市	商店街型																
	古 越、 ロ ー サ を 含 む	古 町・ 東 堀・ 西 堀 (三 ド ー を 含 む)	本 町 (イ ト ー ヨ ー カ を 含 む)	小 針	寺 尾	内 野	黒 崎	西 新 潟 の そ の 他	丹 、 原 信 を 含 む	万 代 (ラ ブ ラ 万 代 、 伊 勢 を 含 む)	新 潟 駅 前 ・ 新 潟 駅 (C o c o l o を 含 む)	新 潟 駅 南 (ド ン キ ホ ー テ を 含 む)	沼 垂	山 の 下 (市 場 通 り 周 辺 、 清 水 フ ー ド を 含 む)	石 山 (東 新 潟 駅 周 辺)	松 浜	東 新 潟 の そ の 他
利用 交 通 手 段	バス(高速バスを除く)	28.0	28.5	3.0	2.8	2.1	0.9	1.8	18.9	22.8	8.6	4.3	1.4				1.6
	高速バス	0.7	0.4			0.7		0.4	0.5	0.8	0.3						
	鉄道(新幹線を除く)	0.9	1.1					0.7	4.2	15.8	8.0				0.9	1.1	
	新幹線																
	自家用車	52.2	41.9	81.0	85.5	87.6	91.9	87.6	61.7	41.8	66.4	68.0	78.8	74.4	83.2	88.0	
	自転車・バイク	7.3	11.8	5.9	4.7	4.1	3.4	2.9	6.7	7.3	6.2	12.8	9.9	8.8	11.2	6.3	
	徒歩	8.7	14.4	8.9	6.0	4.1	2.1	5.1	7.8	10.7	9.4	14.9	8.5	15.0	3.4	3.8	
	タクシー/ハイヤー	1.9	0.8	0.6	0.5			0.4	0.4	0.1	0.8						
	その他	0.3	1.1	0.6	0.5	1.4	1.3	1.1	0.1					1.4	0.9	1.1	0.3
旧新潟市	郊外型																
	含 む	万 代 島 (ピ ア 万 代 を 含 む)	山 青 山 (イ オ ン 新 潟 青 山 を 含 む)	新 小 新 潟 西 、 ア ビ タ を 含 む)	電 機 を 含 む (イ オ ン 新 潟 を 含 む)	関 屋 (原 信 ・ ヤ マ ダ を 含 む)	出 来 島 ・ 女 池 (チ ヤ を 含 む)	新 木 戸 ・ 大 形 (イ オ ン を 除 く)	鴻 東 店 周 辺	河 渡 S C ・ イ オ ン 新	藤 見 (赤 道 S C ・ フ を 含 む)						
利用 交 通 手 段	バス(高速バスを除く)	8.3	6.1	1.5	3.6	1.9	1.5	1.0	0.4								
	高速バス	0.5					0.5	0.2									
	鉄道(新幹線を除く)	1.0			0.5												
	新幹線																
	自家用車	81.9	84.6	93.9	82.3	88.6	85.8	93.2	93.3								
	自転車・バイク	3.9	4.2	2.7	6.8	5.7	7.1	4.0	4.7								
	徒歩	1.9	4.7	1.3	5.9	3.6	4.6	1.4	0.8								
	タクシー/ハイヤー	1.5	0.2	0.3		0.2											
	その他	1.0	0.2	0.3	0.9			0.2	0.4								

3 宅配等及び無店舗販売と消費者の買物行動（表 11）

- ・ 宅配等・無店舗販売の合計を品目別にみると、「おもちゃ・CD・楽器」（20.1%）の利用割合が最も高く、「服飾品・アクセサリー」（15.6%）、「呉服・寝具」（12.7%）の順となっている。
- ・ 前回調査と比較すると、「おもちゃ・CD・楽器」で 6.2 ポイント増加し、その他の全ての品目でも増加している。

表 11 宅配等及び無店舗販売による買物利用割合（単位：%）

種別	品目	衣料品			身辺細貨		文化品					日用品		食料品		贈答品	
		呉服・寝具	高級衣料 （背広・外出着）	実用衣料 （下着・普段着）	服飾品・アクセサリー	靴・カバン	時計・メガネ・カメラ	家庭用電気製品	家具・インテリア	文具・書籍	レジャー・スポーツ用品	おもちゃ・CD・楽器	医薬品・化粧品	日用雑貨	生鮮食料品 （肉・魚・野菜）		菓子・パンを含む 一般食料品
宅配等	地元内（県内）	1.1	0.5	0.6	0.4	0.5	0.4	0.6	0.5	0.4	0.4	0.6	0.7	0.6	1.1	1.0	1.5
	地元外（県内）	2.1	2.0	1.4	2.0	1.6	1.2	0.9	1.6	0.8	1.3	2.4	1.1	0.4	0.7	0.6	1.6
	県外・不明	7.5	5.8	5.5	10.4	7.8	6.6	5.6	7.9	5.1	7.6	13.0	5.5	1.2	0.2	0.3	4.8
無店舗販売		2.0	1.3	1.3	2.8	1.8	2.3	2.0	2.0	1.5	1.6	4.1	1.9	0.4	0.3	0.3	1.3
合計	平成25年	12.4	6.7	8.0	12.8	9.4	7.6	6.7	9.7	5.9	8.4	13.9	8.8	1.9	2.1	1.8	7.1
	平成28年	12.7	9.6	8.8	15.6	11.7	10.5	9.1	12.0	7.8	10.9	20.1	9.2	2.6	2.3	2.2	9.2
	増減	0.3	2.9	0.8	2.8	2.3	2.9	2.4	2.3	1.9	2.5	6.2	0.4	0.7	0.2	0.4	2.1

4 中心市街地に対する県民意識

(1) 中心市街地の利用回数 (図3、4)

- ・ 月1回以上利用している人の割合は、県計で69.3%と前回に比べ0.2ポイント低下し、年代別でみると20代、50代で上昇している。
- ・ 週1回以上利用している人の割合は、県計で41.5%と前回に比べ2.2ポイント上昇し、年代別でみると20代~60代で上昇している。
- ・ ほとんど利用しない人の割合は、県計で30%を超えており、市部においても同様の結果となっている。

図3 中心市街地の利用回数

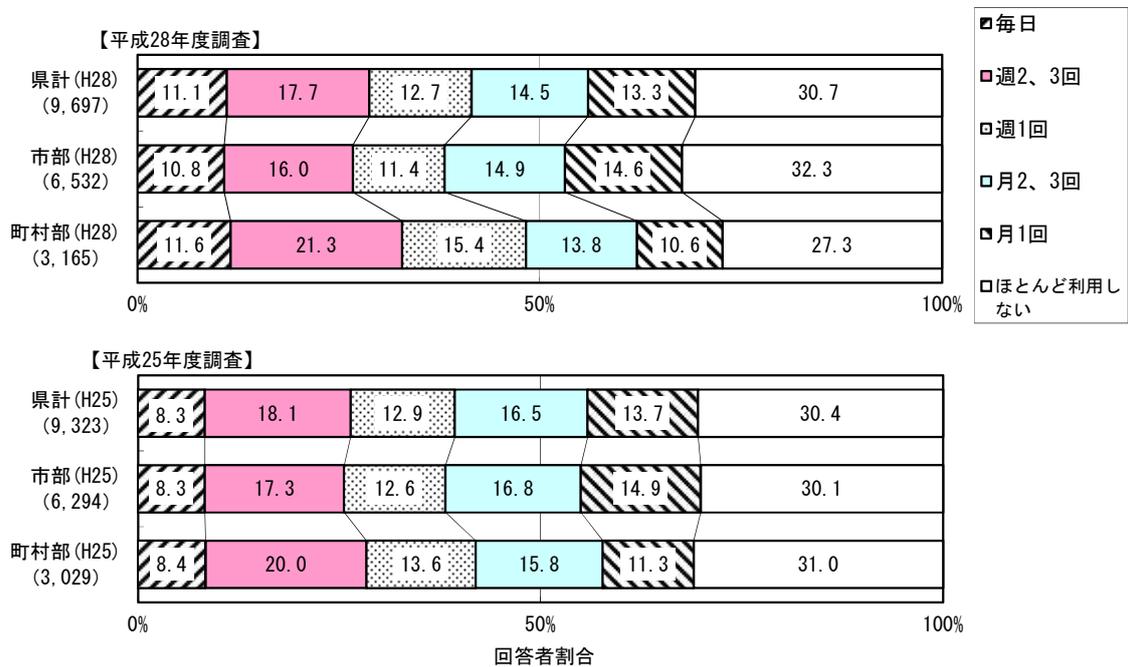
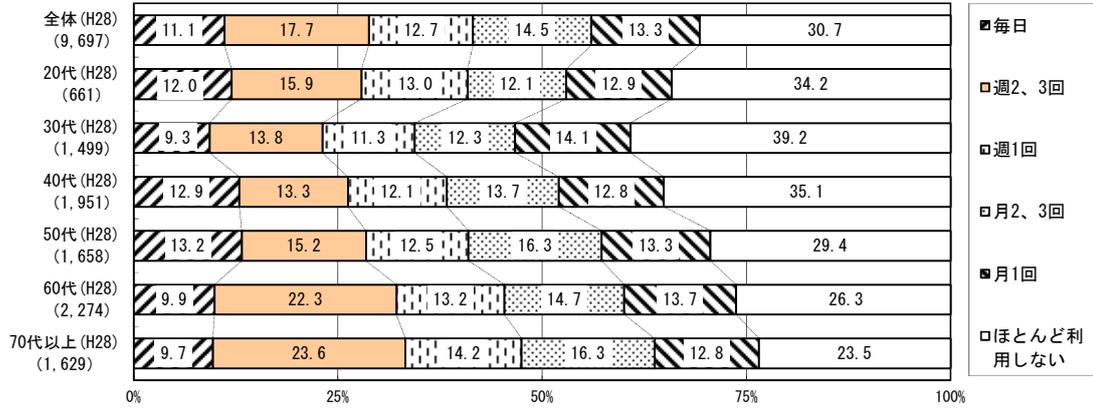
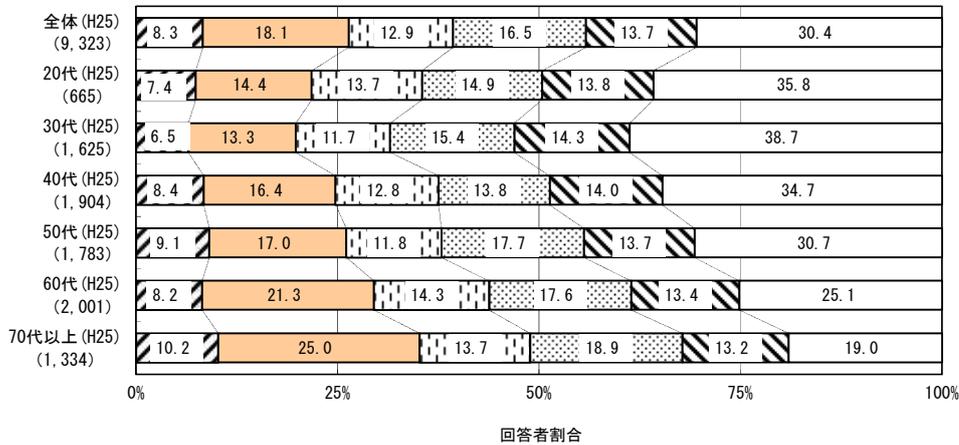


図4 年代別中心市街地の利用回数

年代（調査年）【平成28年度調査】
（回答者数）



【平成25年度調査】



（注）全体の回答者数は、年代不明分を含むため、各年代回答者の合計と一致しない。

(2) 中心市街地の利用目的（表12）

- ・ 県計では、「買物」の割合が77.9%と最も高く、次いで「公共的施設の利用」（48.2%）、「飲食」（27.4%）の順となっている。

表12 中心市街地の利用目的

（複数回答／単位：％）

		仕事	買物	公共的施設の利用	飲食	芸術鑑賞	教養・娯楽	その他
県計	平成28年	16.6	77.9	48.2	27.4	1.3	7.2	3.0
	平成25年	14.1	80.5	50.4	27.1	1.6	7.0	3.0
市部	平成28年	15.9	77.0	44.7	32.2	1.7	8.1	3.3
	平成25年	13.0	79.6	46.6	31.3	2.2	7.9	3.1
町村部	平成28年	17.9	79.5	55.1	18.2	0.3	5.4	2.6
	平成25年	16.3	82.4	58.3	18.2	0.2	5.0	2.9

(3) 中心市街地に足りないもの (表 13)

- ・ 県計では、「商業機能の充実」の割合が 64.9%と最も高く、次いで「駐車場や道路の整備」(43.0%)、「公共交通機関の整備」(14.6%)の順となっている。
- ・ 市部と町村部を比較すると、市部では「駐車場や道路の整備」(市部 50.8%：町村部 27.0%)割合が高く、町村部では、「商業機能の充実」(町村部 72.9%：市部 61.0%)の割合が高くなっている。

表 13 中心市街地に足りないもの

(複数回答／単位：%)

	商業機能の充実	自然環境施設の整備	公共的施設の整備	教養・文化施設の設置	駐車場や道路の整備	公共交通機関の整備	その他	足りないものはない
県計	64.9	14.2	9.7	12.4	43.0	14.6	4.8	8.0
市部	61.0	13.9	7.8	11.7	50.8	14.4	4.9	8.2
町村部	72.9	14.7	13.5	13.8	27.0	14.8	4.5	7.7

(4) 中心市街地活性化の必要性の有無 (表 14)

- ・ 中心市街地の活性化が「必要である」と回答した人の割合は 73.9%と「必要でない」の 9.2%を大きく上回っている。

表 14 中心市街地活性化の必要性の有無

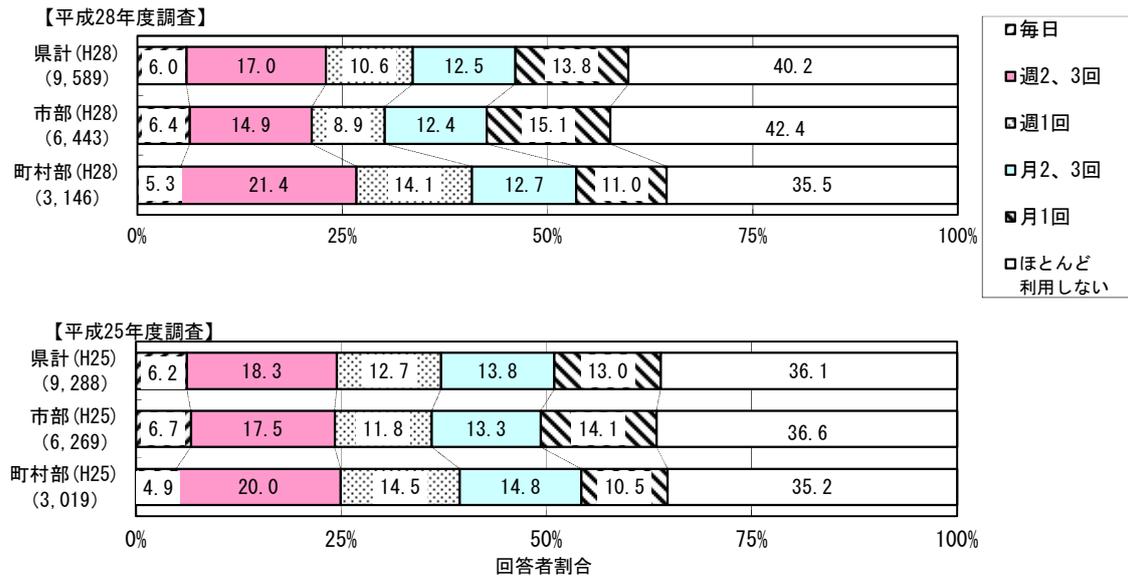
		必要である	必要でない	わからない
県計	平成28年	73.9	9.2	16.9
	平成25年	63.8	12.3	24.0
市部	平成28年	75.1	8.9	16.1
	平成25年	65.9	11.0	23.1
町村部	平成28年	71.4	10.0	18.6
	平成25年	59.3	15.0	25.7

5 中心市街地にある商店街又は商店に対する県民意識

(1) 中心市街地にある商店街又は商店の利用回数 (図 5)

- ・ 月 1 回以上利用している人の割合は、県計で 59.9%と前回に比べ 4.1 ポイント低下している。
- ・ 週 1 回以上利用している人の割合は、33.6%と前回に比べ 3.6 ポイント低下している。

図 5 中心市街地にある商店街又は商店の利用回数



(2) 中心市街地における商店街又は商店に対する不満 (表 15)

- ・ 県計では、「商品の品揃えが豊富でない、欲しい商品がない」の割合が 48.3%と最も高く、「駐車場等の施設が利用しにくい」(35.1%)、「商品の価格が高い」(21.2%)の順となっている。
- ・ 市部と町村部を比較すると、市部では「駐車場等の施設が利用しにくい」(市部 43.1%：町村部 18.6%)、「入りにくい雰囲気のお店が多い」(市部 15.9%：町村部 11.8%)の割合が高く、町村部では「商品の品揃えが豊富でない、欲しい商品がない」(町村部 58.9%：市部 43.1%)、「商品の価格が高い」(町村部 27.2%：市部 18.3%)の割合が高くなっている。

表 15 中心市街地にある商店街又は商店に対する不満

(単位：%)

	回答者数 (人)	商品の品揃えが豊富でない、欲しい商品がない	商品の価格が高い	入りにくい雰囲気のお店が多い	営業時間が短い	娯楽施設やイベントがないなど、買物以外で楽しめない	駐車場等の施設が利用しにくい	悪天候時に不便である	交通の便が悪い	高齢者、障害者への対応が十分でない	接客やサービスが不足している	不満はない	その他
県計	9,483	48.3	21.2	14.5	8.7	13.7	35.1	4.8	9.3	3.7	3.2	10.2	3.1
市部	6,374	43.1	18.3	15.9	8.5	13.0	43.1	5.3	10.8	3.9	3.0	9.4	3.0
町村部	3,109	58.9	27.2	11.8	9.1	15.0	18.6	3.8	6.3	3.3	3.6	11.7	3.2

(3) 中心市街地にある商店街又は商店で不足している業種（表 16）

- ・ 県計では、「食品スーパー」の割合が 24.9%と最も高く、「衣料品店」（17.8%）、「生鮮食品」（13.4%）の順となっている。
- ・ 市部と町村部を比較すると、市部では「家具・インテリア」（市部 6.3%：町村部 4.6%）、「足りないものはない」（市部 19.5%：町村部 11.7%）の割合が高く、町村部では「食品スーパー」（町村部 28.1%：市部 23.3%）、「生鮮食品」（町村部 16.3%：市部 12.0%）の割合が高くなっている。

表 16 中心市街地にある商店街又は商店の不足業種 (単位:%)

	回答者数 (人)	食品 スーパー	生鮮食品	惣菜店	酒店	パン・ 菓子店	その他食品 (米・茶な ど)	衣料品店	服飾品・ア クセサリー	靴・ カバン店	時計・ メガネ・ カメラ	家電店
県計	9,213	24.9	13.4	8.3	0.9	4.8	0.3	17.8	3.7	6.2	1.3	5.9
市部	6,159	23.3	12.0	8.3	0.8	4.4	0.3	17.2	4.0	6.5	1.4	6.0
町村部	3,054	28.1	16.3	8.4	1.0	5.6	0.4	19.1	3.1	5.6	1.2	5.7

	回答者数 (人)	家具・ インテリア 店	文具・ 書籍店	レジャー スポーツ 用品店	おもちゃ・ CD・楽器	医薬品・ 化粧品店	日用雑貨店	理容院・ 美容院店	飲食店	携帯電話・ スマート フォン関連 店	足りないも のはない	その他
県計	9,213	5.7	12.5	7.6	4.1	3.5	9.1	0.5	11.1	3.8	16.9	5.6
市部	6,159	6.3	11.2	7.7	4.3	2.3	9.1	0.3	10.1	3.3	19.5	6.3
町村部	3,054	4.6	15.1	7.4	3.6	5.8	8.9	0.8	13.0	4.9	11.7	4.2

(4) 中心市街地にある商店街又は商店が魅力を高めるために必要なこと（表 17）

- ・ 県計では、「品揃えの充実」の割合が 43.8%と最も高く、「アーケード・駐車場」（40.2%）、「独自の商品や取組」（17.3%）の順となっている。
- ・ 市部と町村部を比較すると、市部では「アーケード、駐車場」（市部 46.9%：町村部 26.3%）の割合が高く、町村部では「品揃えの充実」（町村部 50.8%：市部 40.5%）の割合が高くなっている。

表 17 中心市街地にある商店街又は商店が魅力を高めるために必要なこと (複数回答/単位:%)

	アーケード ・駐車場	送迎サー ビス	交流施設	行政サー ビス	段差解消	品揃えの 充実	営業時間 の延長	魅力のあ るイベント	スタンプ、 ポイント カードの充 実	インター ネットの活 用	配達・御 用聞き	子育て支 援施設	交流施設	その他
県計	40.8	15.3	3.5	4.3	6.6	51.7	10.4	17.8	5.1	4.4	9.2	5.9	3.9	5.8
市部	47.5	15.2	3.7	4.5	7.3	48.1	10.9	17.7	4.8	4.0	7.6	5.7	3.9	5.9
町村部	26.8	15.3	3.0	3.8	5.2	59.5	9.3	18.1	5.9	5.1	12.6	6.3	4.0	5.5

6 日々の買い物に対する県民意識 — 買い物の利便性に関する調査 —

(1) 日々の買い物に対する不便の有無 (表 18)

- ・ 県計では、日々の買い物に対して「不便を感じている」の割合が 29.4% であり、「不便を感じていない」の割合が 70.6%となっている。
- ・ 市部と町村部を比較すると、町村部で「不便を感じている」(町村部 36.2% : 市部 26.1%) の割合が高くなっている。

表 18 日々の買い物に対する不便の有無 (単位:%)

	不便を感じている	不便を感じていない
県計	29.4	70.6
市部	26.1	73.9
町村部	36.2	63.8

(2) 日々の買い物に対して不便を感じていること (表 19)

- ・ 県計では、「複数の店舗を回らないと欲しい物がそろわない」の割合が 71.4%と最も高く、「近隣にスーパー・商店がない」(64.7%)、「交通費が多くかかる」(22.8%) の順となっている。
- ・ 市部と町村部を比較すると、市部では「買ったものが重く、持ち帰ることが難しい」(市部 24.7% : 町村部 14.2%) の割合が高く、町村部では「近隣にスーパー・商店がない」(町村部 70.8% : 市部 60.5%) の割合が高くなっている。

表 19 日々の買い物に対して不便を感じていること

(単位:%)

	近隣にスーパー・商店がない	複数の店舗を回らないと欲しい物がそろわない	交通手段がない	買ったものが重く、持ち帰ることが難しい	買い物に行くには他の人の手助けが必要	交通費が多くかかる	子育て・介護などで家を空けることができない
県計	64.7	71.4	14.4	20.4	9.8	22.8	6.6
市部	60.5	70.1	16.0	24.7	10.9	22.9	6.9
町村部	70.8	73.3	12.0	14.2	8.1	22.5	6.0

(3) 日々の買い物に対して不便を解消するためにあったらよいサービス

(表 20)

- ・ 県計では、「近所に商店等が欲しい」の割合が 49.9%と最も高く、「購入商品の宅配サービス」(29.3%)、「電話による注文、宅配サービス」(25.6%)、「移動販売車によるサービス」(25.2%)の順となっている。
- ・ 市部と町村部を比較すると、市部では、「購入商品の宅配サービス」(市部 32.7%：町村部 24.2%)の割合が高く、町村部では、「移動販売車によるサービス」(町村部 28.0%：市部 23.4%)の割合が高くなっている。

表 20 日々の買い物に対して不便を感じていること

(単位：%)

	移動販売車によるサービス	電話による注文、宅配サービス	購入商品の宅配サービス	インターネットによる注文、宅配サービス	近所に商店等が欲しい	コミュニティーバスや乗合タクシー	買い物代行	特になし	その他
県計	25.2	25.6	29.3	11.6	49.9	20.9	6.0	16.3	6.1
市部	23.4	25.8	32.7	10.6	48.6	22.5	6.7	15.9	7.1
町村部	28.0	25.3	24.2	12.9	51.8	18.6	4.9	16.8	4.7